

ゴーリキーへの気づかい

三〇九 ア・エム・ゴーリキーへ

一九二一年八月九日

アレクセイ・マクシモヴィチ！

お手紙は、エリ・ベ・カーメネフへ転送しました。

私はひどく疲れていてなにひとつできません。

あなたは^{かっけつ}喀血しているのに、まだ出かけないのですって!! それはまったく恥ずかしいことでもあれば無分別でもあります。

ヨーロッパのよい療養所に行き、治療をうけ、三倍もたくさん仕事をしてください。

ほんとうですよ。

ところで、わが国では療養もできなければ、仕事もできないし——空騒ぎがあるだけです。なんの役にも立たない空騒ぎが。

出かけて、なおしてください。どうか、強情をほらないでください。

レニニシ

第四五巻 P288~289 『ア・エム・ゴーリキーへ』

1921年8月9日

1924年に雑誌『ルースキー・ソヴレメンニク』第1号にはじめて発表

手稿によって印刷